



まなび

夏休み号 R5. 7. 19
さくら市立南小学校 学習指導部

いよいよ 夏休み！

いよいよ、今週末から夏休みとなります。子ども達にとっては待ちに待った夏休みです。時間を有効に使い、日頃体験できないようなことに挑戦し、楽しい思い出いっぱいの夏休みになればと思います。

夏休みの学習について

今年の夏休みの課題は、各学年で選定した夏休みのドリルを中心に学習を進めます。国語や図工の作品については、1～4年生はどちらか選択、5・6年生はそれぞれ1点取り組む課題となっています。詳しい課題は各学年から出る学年だよりをご覧になってください。

夏休み明けには、「国語・算数テスト」があります。夏休みの学習を確かめるテストになります。出題範囲は、主に夏休みの課題の中からなっています。学年に応じて出題数は変わりますが、4～7月までの学習範囲です。再テストや補習はありません。この確認テストで、夏に蓄えた力が十分に力が発揮できるよう、ご家庭でのお声掛けをお願いいたします。

夏休みの学習のポイント

- 1 早寝早起きを心掛ける。
- 2 日課表を作り、毎日の学習時間を決める。
低学年は1時間、中学年は2時間、高学年は3時間。
それを目安にそれ以上取り組んでみましょう。
- 3 学校から出ている課題にしっかり取り組む。



「自ら学ぶ力」を育てるチャンス！



長い夏休みのスタートと共に、長い「家庭学習」期間が始まります。「自ら学ぶ力」を育てるチャンスの到来です！！

家庭学習の目的の一つは、家庭学習の習慣化を図ることで、より学習内容を定着させたり、自ら学ぶ力を育てたりすることにあります。担任から出る決められた課題であっても、分からない問題に出合ったときにどうするか…？教科書を見直したり、辞書を使って調べたりすることで、自ら学ぶ力が育っていきます。自主学習では、与えられた宿題とは違い、何をやるのかは自分で決めることができます。その分、「何をしたらいいのか？」と悩むことも多いようです。しかし、今までの学習を振り返り、理解が足りなかったところを復習したり、よく分からない言葉や気になったことを自分なりに調べてみたり、「今、自分に何が必要か」を考えて学習することで、自ら学ぶ力がついてくるのです。そのために家庭では、・・・？

以下に、「栃木県総合教育センター」から出されている家庭学習についてのリーフレットの一部を紹介しします。言葉がけや関わり方の参考にしてください。

低学年では、やる気を伸ばしましょう

■ 低学年の子どもは、「何でもやれるよ。できるよ。」と言うことがよくありますが、実際にはなかなか一人でやるのが困難です。したがって、保護者の協力は欠かせません。やる気を失わない温かい助言や励ましを与えて、次へのやる気を育てましょう。

ポイント

- 宿題のやり方など、丁寧に教えてあげましょう。
- 親子で楽しく学習する体験をさせましょう。
- できるだけ短い時間で学習させましょう。

中学年では、自立の芽を大切に育てましょう

■ 中学年になると、何とか自分で決めて行動をしようとする気持ちももち始めます。しかし、その反面なかなか自分への甘えを見服できない時期でもあります。ですから、子どもの葛藤を知り、温かく見守ってやったり、ちょっと手助けしてやるなど保護者の心の余裕も必要です。

ポイント

- 勉強の内容が徐々にむずかしくなります。どんなことをやっているのか子どもに聞いて、声をかけましょう。
- 自力で取りくもうとする姿勢を積極的に励ましましょう。

高学年では、子どもの自主性を大切にしましょう

■ 高学年になると、学習に対して、自分なりの見方、考え方ももち始めます。思春期を迎えようとしている子どもたちだけに自尊心も一層強くなります。ですから、自分なりに選択したり、工夫していることを大いに認めて、意欲的に取り組めるようにしましょう。

ポイント

- 自分の学習目標をしっかり持たせましょう。
- 自分のペースでじっくり取り組ませましょう。

成長に応じたかかわり方を心がけましょう